

令和元年度 第2回生坂村結婚支援企画検討委員会会議録（抜粋）

1. 日 時 令和2年1月15日（水） 午前10時00分から午前11時05分

2. 場 所 生坂村役場会議室

3. 出席者 委 員： 藤原久紀（村社会福祉協議会）、望月典子（村議会議員）
瀧澤龍一（村議会議員）、新井芳子（女性の会）、
平林ひろみ（村農業公社）、橋井春江（村農業公社）
腰原秀子（民生児童委員）、柳澤哲子（民生児童委員）

村 長： 藤澤泰彦

説明者： 樋口雄一（教育長）、鈴木路代（いくさか大好き隊）

松沢昌志（事務局・住民課長）

4. 協議事項

（1）婚活イベントについて

（2）その他

○生坂村結婚相談所の開所時間変更の報告

○長野結婚マッチングシステム登録状況の報告

委員からの意見

問：村内からどの位募集するという目標はあるのか。村外からの応募が多くなると心配。募集の仕方が大事ではないか。以前婚活イベントでは村外からしか応募がなかったという事例があるので、そこら辺のところも。

答：3～4名程度と考えている。村内から応募があれば優先していけるが、無い場合には村外者だけになることも考えられる。他団体からも協力いただけるので、村外からの応募はあると思うが、応募していただかなければどうしようもないので、声掛けなどをお願いしたい。

問：面白い企画だとは思いますが、応募してもらえそうな人はいるのか。関心ある人がいれば、その人から広げてもらうよう協力をしてもらえるようにしたらいいと思う。

答：特定の人はいない。

問：名称は変えて募集したらどうか。既婚者ばかりが集まることも考えられると思うが。

答：名称は別のものを考える。既婚者ばかりの可能性もあるが、応募が多ければ人選できる。

問：3地区に声をかけて、男女募集するのか。

答：募集の段階で、3地区を優先して選定すると記載する。

問：3地区を指定した理由は。

答：3地区は繋がっており、地域振興局は別々だが人口減少等の課題があるので、一緒に活動しないか検討をしている。その中で、県外との交流事業をしたらどうかというところで考えていた。今回婚活イベントでも同じような計画をしていたので、一緒にやったらどうか。問題は村内からの応募があるかどうか。若い世代を集めるには、熱心に活動している方に声を掛けてもらえば集まると思う。

問：ロコミや声掛けでやっていかなければいけないと思うので、ここにいる人から声掛けをしていければと思う。面白い企画だと思う。

答：ロコミは重要だと思う。皆さんの協力をお願いしたい。

問：補助事業を使うということで、目標設定が難しいと思う。村民の何パーセントにお金を使っているんだと言われかねない。若い人が元気になるっていう何かがないと。いい企画だとは思いますが、その点がきついと思う。

答：成功率を問題にしない。結果的にカップルにならなくても、出会いがあって楽しかった、やって無駄にならないことが大事だと考える。

意見：県外との交流で、村の方は出会い、仲間ができて村が元気になるというイメージに持っていければいいと思う。県外、村外の人を呼んで村をよくしますという表現にしておいた方がいい。

その他

結婚相談所の開所時間変更の報告。長野マッチングシステム登録の報告。

平日の対応について協議。

予約に合わせ時間を調整する。会場についてはその都度都合の良い場所で開所する。